

## TIME DRIVER

～未来の僕に伝わるように～

2017.5.3

山元隼一

### 【形式】

24分×1話

### 【ジャンル】

SFロボットアニメーション

### 【タグライン】

夢見る心の力で動くロボット「タイムドライバー」  
に乗って、地球を救った子供が  
大人になって夢見る心を取り戻して、タイムドライバー  
に乗ってまた再び、誰かのために戦う話

### 【ターゲット】

昔、子供だった大人に向けて。20代～30代くらい。

### 【バリュー】

童心を取り戻させてくれる作品。夢みることの大切さを伝える。

### 【登場人物】

松原勇斗(27) 15年前に地球を救ったが、その記憶は今はない。  
今は、母校の小学校で6年A組の担任になっている。

ちび勇斗(12) 2002年の頃の子供の頃の勇斗。  
倒し損ねたダークマターを追って、  
タイムドライバーに乗って、未来の自分に会いに来た。

美波アイ(27) 勇斗の幼馴染で、元恋人。一緒に地球を救った。  
今はとある事情で勇斗と距離を置いている。

タイムドライバー 子供の夢見る心から生まれた地球を守るロボット。

操縦は二人で行う。時間を自由に行き来できる。

ビーウォッチ　ビー玉をセット出来る時計型のウェアラブルデバイス  
ビー玉の組み合わせで、タイムドライバーが違った力を発揮できる。

### 【プロット】

タイムドライバーと宇宙からの侵略者「ダークマター」との最終決戦。  
タイムドライバーには二人の少年と少女が乗って操縦している。  
一人は松原勇斗、もう一人は勇斗の幼馴染の美波アイ。  
一方のダークマターは禍々しいエネルギーが凝縮した形状をしている。  
タイムドライバーは鳥型の形態から人型のモードに切り替わり、  
ダークマターに対して、最後の一撃を繰り出す。  
巨大な爆発が起き、ホワイトアウト

遠くから子供の声が聞こえて来る。

？「先生、先生ってば。」

教壇で居眠りをしていた悠斗は  
教え子に起こされる。6年A組の教室。  
勇斗は、このクラスの担任だ。

黒板には将来の夢と書かれている  
子供たちに書いてもらう  
卒業アルバムの文集の課題だ。

6年A組の担任になった悠斗

生徒「先生はどんな大人になりたかったの？  
将来の夢は先生になることだったの？」  
勇斗は、生徒たちの質問をはぐらかす。

母校の夢ヶ丘小学校で教師になった勇斗。  
大学を出て、すぐに母校で小学校の担任になったが、  
余計なことをすれば保護者や  
また教育委員会からもクレームが飛んで来る。  
学年主任からも小言を言われる。

教育学部の頃に抱いていたような  
教育に対しての熱は失っていた。

幼馴染で交際していたアイにもそのことを指摘され、  
口論になり、距離を置いていた。

勇斗は自宅への帰路の途中。  
渋谷の街で時空を切り裂いて  
夢で見たロボットと何かの戦いに遭遇する。  
しかし、それらは再び時空を切り裂いて消え去る。

勇斗は目の錯覚だろうと思いながら、  
1LDKのアパートの一室に帰ると、  
なにやら騒がしい。  
子供がゲームをしているようだ。

教え子が勝手に入り込んだか？と思った勇斗だったが、  
「おかえりー。この時代のゲームってすごいんだね。」  
頭に装着していたVR(PSVRのような)を外した  
少年の顔を見て驚く。

そこには小学6年生の頃の勇斗(ちび勇斗)がいた。

昔の記憶がフラッシュバックする勇斗

勇斗は、子供の想像力から生まれた、  
子供にしか見えないロボット「タイムドライバー」に乗って  
宇宙からの侵略者「ダークマター」と戦っていた。  
そして勇斗と幼馴染のアイは地球を救った。  
大人の知らないところで。  
そして、その役割を果たしたことで、  
役目を終え、今の勇斗はその記憶を失った。

でも、過去から来た勇斗は少し違う時間線から来た。

2003年にダークマターを倒し損ねてしまい、2018年1月の現代に逃げられてしま  
う。  
タイムドライブして、それを追って、現代に来たのだという。

倒せなかったのは、  
ちび勇斗は、些細なことでアイと喧嘩してしまい、  
それで倒せなかったためらしい。  
タイムドライバーは二人乗りのロボットだ。二人の波長や  
夢見る力がなければ、真の力は発揮できない。

そのため、現代に逃げて来たダークマターを倒すために  
今の27歳になった勇斗の力を貸して欲しいと頼む、ちび勇斗。  
アイの使っていたビーウォッチを渡そうとする。  
腕が大きくなって、もうつけられない。

現代のアイの力を借りれないのか？と聞くちび勇斗だったが、  
今は同じく距離を置いているアイには頼れない。

近くでダークマターの発生反応。  
戦って欲しいと頼むちび勇斗だったが、  
断る大人勇斗。

しかし、タイムドライバーに強制的に乗せられ、現場に。  
ダークマターと戦うが、夢見る力が、ちび勇斗が1万ドリーム  
(戦闘力のようなものです)  
に対して、勇斗がマイナス9000ドリーム。勇斗はちび勇斗の足を引っ張ってしま  
い、惨敗。  
なんとかして、夜の小学校に避難する。

ちび勇斗は勇斗を非難する。  
なぜ夢見ることを忘れてしまったのか、  
それではダークマターに勝つことはできない。

勇斗はアイは卒業を前に控えて  
埋めたタイムカプセルを埋めていたことを思い出す。

卒業を前にアイが遠くの街に転校することになり、  
それで未来の自分への手紙を埋めたのだ。  
15年後にまた開こうと。

そのタイムカプセルを開くと、  
そこにはたくさんのカードや漫画、携帯ゲームなどなど。

たくさんのビー玉。

未来の僕へ

「未来の僕はどんな大人になっていますか？  
夢ヶ丘小学校の先生になれるといいなと思うんだけど、試験って難しいのかな？  
困った人がいたら、助けられる大人になっているといいなと思います。  
それと、アイは隣にいますか？　じゃ、また15年後に。」

アイが転校した後のことを勇斗は、ちび勇斗に話す。  
全部は話してはいけないと思ったので、かいつまんで  
今までの自分の人生のことをちび勇斗に話した。  
転校した街が遠くだったから、文通を始めたこと。  
アイと再び同じ高校になったこと。そして、交際を始めたこと。  
学年で一番人気だったアイと交際したことで、クラス中の男子からブーイングの  
嵐だったこと。  
そして、努力した末に教員試験に合格し、先生になったこと。  
アイの飼犬のラッキーが死んで、アイがすごく落ち込むから、  
その時は遊びに行って、励ましてあげて欲しいこと。  
それから、なんども喧嘩したけど、その度に仲直りしたこと。

色々あったんだねと勇斗を慰めてくれるちび勇斗。  
そして、さっき非難したことを謝る。

テレビでニュース。  
病院に多くの子供たちが謎の昏睡状態になり  
運び込まれているという。  
勇斗の教え子たちも多くがその症状になっているらしいと連絡が来る。

ちび勇斗は、ダークマターに  
夢みる力を奪われてしまったのだらうと言う。

ビーウォッチのベルトをツギハギして、  
腕につける勇斗。  
ちび勇斗にタイムドライバーに乗せてもらい、  
ダークマターの元に向かう。

タイムカプセルに入っていた子供の頃のカードや漫画、  
そして手紙が発光し、夢見る力が上がっていく。

二人の力が上がって、ダークマターを完全に消滅させる。  
クラスの子供たちを助ける。

お互いにアイと仲直りしようと約束して、  
子供時代の勇斗は過去に戻る。

再び、教室。教壇に立っている勇斗。  
将来の夢と黒板に書かれている。  
生徒たちは400字詰めの原稿用紙と  
にらめっこしている。

生徒がまた勇斗に対して質問をする。  
生徒「先生はどんな大人になりたかったの？  
将来の夢は先生になることだったの？」

勇斗は、今度は子供たちに対して、はぐらかさず、逃げずに答える。

そして、勇斗は家への帰路で、  
アイに電話をする

勇斗「あ、アイ？えっと。。ご無沙汰。元気にしてる？  
一緒に埋めたタイムカプセル覚えてる？うん。」

勇斗の手には、アイの書いた子供の頃の手紙。

未来の私へ

「元気ですか？転校した中学はどんな感じですか？たくさん友達できるといいな。  
どんな大人になっていますか？ 獣医さんにはなれましたか？  
ラッキーを元気にしてあげられる優しい獣医さんになってください。  
頑張っってね。  
あと、15年後は勇斗の隣にいられますように。」

ED

(BUMP OF CHICKENの魔法の料理？のような曲)